

大勇門

豊田市立前林中学校



令和 8年10月15日 No.20

＜学校だより＞文責：大村 齋人^{おおむら よしひと}

TEL : (0565) 52-1353

E-mail : c-maebayashi@toyota.ed.jp

前期終業式

【1年生代表生徒 スピーチ (抜粋)】

学級全員リレーでは全員でバトンをつなぐことができました。そして、学年で総合3位という素晴らしい結果を残すことができました。みんなで協力して練習し、心をつなげて応援した当日、その一つ一つの場面が、クラスの誇りとなり、僕たちの自信となりました。

素晴らしい思い出になった体育祭、そして日常生活の中で、僕たちの手本となり、引っ張ってくださったのは先輩方でした。体育祭では、練習の中で先輩方が僕たちに優しく練習方法を教えてくださったり、本番で一緒に応援してくださいました。

日常生活では、クリーンプラスに積極的に参加して学校をきれいにし、あいさつ運動では明るく大きな声を出している姿を見ました。前林中学校をより良くするために行動する先輩方を見て僕も先輩方のように前林中学校をより良くしていきたいと思うようになりました。

前期級長として培ってきた力を、今度は生徒会の活動に生かし、精一杯頑張っていきたいと思います。



【2年生代表生徒 スピーチ (抜粋)】

1年生の時は目標にしているクラスメイトがいて、そのクラスメイトの真似をするようにしていました。しかし、2年生になりその子と違うクラスになってしまったことで、迷子になったような気持ちになり、少しずつ迷い始めました。

そんな時、吹奏楽部のレッスンで、先生にもう少し自分で考えるということをしてほしいと言われました。吹奏楽部のことで言われた言葉だったけれど、その時の僕には、それが今の自分の学校生活に対するアドバイスにも聞こえました。それから僕は、自分にできることはないかと常に考えながら行動するようになりました。すると次第に周りが見えるようになり、自分に何ができるのか、クラスや学年に足りていないことは何かが、少しずつ分かるようになりました。そして、気づいたことを行動に移しました。

最初は周りの人がどんな反応をするのか、うまくやれるのかという不安があったけれど、一緒に協力してやってくれるリーダーのおかげでその不安がなくなり、自信を持って声かけやスリッパの整頓もすることができました。

また、その他のこともリーダーと話し合うことで、他の足りていないところを見つけ挑戦できるようになりました。クラスや学年が変わっていく様子を見ることができ、とてもうれしくなり、考えて行動して良かったと思いました。

これからもクラスや学年にはより良くできる部分があると思います。そして、それを自分で考え行動し、クラスや学年が今よりもさらに輝けるようにしていきたいです。



【3年生代表生徒 スピーチ (抜粋)】

宣言通り、私たちは全国大会に行くという目標をかなえることができました。3年間の集大成であり、目標でもあります。あの勝利の後の景色は、決して忘れることはないと思います。この景色を見るためにやってきたんだと、心底から喜びが湧いてきました。

そして、私たちの目標は全国大会出場から全国大会決勝進出へと上げました。これからの東海・全国大会への挑戦に胸を高鳴らせながら、前回の決定から私たちは部長の指導のもと、悔いの残らない練習をしようと最後まで練習を積んできました。そして、2回目の全国大会予選。最初で最後の全中リレー。気合いを入れて、どんな試合でも自分たちの集大成を見せる試合。みんなが決勝に行けると信じて試合に臨んだ。

しかし、その結果、18位。この夏、この3年間の陸上をかけ、それでも届かなかった決勝。何が足りなかったのか、どうすれば届いたのか、いろいろな感情がこみ上げてきて、ただ悔しかった。

でも私は今、あの試合をやり直したいとは思いません。確かに悔しかったが、もう一度走りたいと思った。何度も悔やんだりもした。けれど、これも私たちが全力で挑んだ一つの結果。

何よりここで終わりたいくない。次の高校の陸上につなげていきたいという気持ちが強くありました。

今週行われる全国36チームのみ出場するU16に出場します。これが自分たち前林リレーチームとしての最後のリレーです。全国大会に出場したチームとして、最後のレースも誇りを持って走っていきたいです。

この夏は選手としても人としても大きく成長させてくれた仲間や先生、家族がいました。この夏では何かに全力で挑む充実感と達成感、そしてその厳しさを知りました。この夏の経験から残り半年の中学校生活をより充実したものにするよう前向きに歩いていきたいです。

